

尼崎市スポーツ推進審議会 議事概要  
(平成26年度第1回会議)

- 1 開催日時 平成26年6月26日(木)午後3時～午後5時
- 2 委員出席状況 出席委員7人 欠席委員3人
- 3 傍聴者 なし
- 4 議事概要

議題1(報告事項) 平成26年度主要事業について

配布資料: 資料1「平成26年度主要事業」

委員 将来、小学生や幼児といったちびっ子向けの大会を考えてはどうか。

事務局 ファミリージョギングは親子で走ってもらえることも目的としており、厳密な意味で年代別の大会ではないが、概ね委員がおっしゃる内容に近いものは開催している。今後のやり方については、参加者の意見や委員の意見を踏まえたうえで考えてみたい。

議題2(報告事項)「尼崎市 運動・スポーツ活動に関する意識調査」について

配布資料: 資料2 運動・スポーツ活動に関する意識調査について(概要版)

資料3 尼崎市 運動・スポーツ活動に関する意識調査

資料4 尼崎市 運動・スポーツ活動に関する意識調査 結果

委員 スポーツクラブ21への申し込みの仕方が分かりにくい。市報やフェイスブックを活用することも大事だが、地域の回覧板に募集や案内を出すことで、住民にとって分かりやすくなり、今まで以上に参加率が上がるのではないかと。

事務局 委員の意見も参考にしながら、今後市民にどのように情報を伝達していくのかを検討していく。

議題3(審議事項) 尼崎市生涯スポーツ振興計画後期計画について

配布資料: 資料5 尼崎市生涯スポーツ振興計画後期計画の策定方針について

委員 生涯スポーツ振興計画の27ページに、スポーツクラブ21と学校開放の関係のことが書かれているが、現状はどうなっているのか。

事務局 学校開放事業は昭和43年度に開始され、その運営のため、現在22小学校に学校開放運営委員会が設置されている。これとは別に、平成14年度から県の施策として、全小学校区で総合型スポーツクラブとして、スポーツクラブ21を設置している。どちらも小学校にあってスポーツ活動を行っており、一般の方には区別が分かりにくいと思うので、学校開放事業の見直しの中で整理できればと思っている。

委員 スポーツクラブ21と学校開放事業の違いが分かる資料があれば、市民に情報を提供し、尼崎市のスポーツを活性化させるのに利用できないか。

事務局 制度を運営する立場からすると両者には違いがあるのだが、提供を受ける市民の立場から見ると、内容的にはほとんど変わらないということになると思う。

委員 スポーツクラブ21の理念では、単なる利用者ではなくクラブ員としてクラブを自ら運営していくという意識がないといけな。利用者ではなく自立してクラブを運営していくという目的があるので、本来はスポーツクラブ21と学校開放運営委員会は別の認識をされなければならない。

事務局 スポーツクラブ21を今後どうしていくのかということが小学校区を拠点とした地域スポーツの運営を考えていくうえで重要になってくると考えている。

委員 スポーツクラブ21は会費が必要であり、自分達で運営していく、自分達で会を育てていくという意識が必要だ。

委員 後期計画の中でもスポーツクラブ21が重要なポイントになるのではないかと。

期ではしっかり手を付けられなかった部分であるし、もっと中身のあるものに仕上げていかなければならない。

委員 スポーツ振興計画 18 ページの施策体系の中の「競技力の向上に向けて」の項目で、「レベルの高い競技の継続的な開催」とあるが、本市は平成 28 年に市制 100 周年を迎えるため、それに向けて今から計画して、将来的な検討をしてはどうか。

事務局 スポーツ振興課では、「スポーツのまち尼崎フェスティバル」の拡充を考えている。

その他

委員 尼崎市は「スポーツのまち」を標榜しているが、それにしては市民のスポーツへの関心が薄い。スポーツが好きか嫌いか、スポーツをするかしないかが二極化している。尼崎を魅力あるまちにするために、市民が力を合わせる必要がある。今後はいろいろな人が集まることのできる魅力的なイベントを考えてもらいたい。

以 上